



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

(財)日本友愛青年協会
〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13

TEL:03-5684-3188

FAX:03-5684-3186

E-mail:yuai@qj8-so-net.ne.jp

http://www.yuayouth.or.jp

発行人：川手正一郎

編集人：鶴巻克雄

隔月1回 10日発行

購読料 年額 3,000円

財団法人日本友愛青年協会 第七六回理事会・第六九回評議員会開催

平成十九年度事業報告
平成十九年度決算報告

満場一致で承認

「公益財団法人」に向けて検討委員会活動
『友愛』理解のために』発刊を承認
鳩山一郎先生五〇年祭を二〇年度事業として承認

五月二十八日(水)、本郷鳩山ビルにおいて、第六九回評議員会・第七六回理事会が開催された。議事の平成十九年度事業報告並びに平成十九年度決算報告は、事務局報告・会計監査報告を受け原案通り承認された。三月に開催された第六八回評議員会・第七五回理事会において可決、設置された、新公益財団法人の施行に向けての「検討委員会」(委員長：鶴巻克雄常務理事)からの提案「新法における方向性について」は、時間をかけ詳しく協議された結果、「公益財団法人」を目指して、検討を続けるという方向が決定した。

議長は、事務局より、項目別に報告が行われた。
(1) 理事会・評議員会開催についての報告
(2) 運営委員会開催についての報告
(3) 軽井沢友愛山荘に関する報告
(4) 国際交流/受け入れ事業
(5) 国際交流/派遣事業
(6) 文化振興事業
(7) 刊行物事業

出席者数が事務局より議長に報告され、議長は寄付行為第三四条の規定を満たしているため本理事会は成立することを宣言した。
議長録署名人名
議長録署名人名は議長一任となり、議長は、長田正太郎、武田紀念男の二名を指名した。
平成十九年度事業報告(案)
上記議案の内、事業報告に

「理事會要覽」に基づき、台風被害を受けたが、修正
(1) 理事会・評議員会開催についての報告
(2) 運営委員会開催についての報告
(3) 軽井沢友愛山荘に関する報告
(4) 国際交流/受け入れ事業
(5) 国際交流/派遣事業
(6) 文化振興事業
(7) 刊行物事業

復も活環境は良好となっている。
(4) 国際交流/受け入れ事業
(5) 国際交流/派遣事業
(6) 文化振興事業
(7) 刊行物事業

における植林事業
アモイ市アモイ大学における「けん玉ペインティング・競技大会」開催
寄付行為第四條一項、四項および五項に基づく事業
外務省推進二〇〇七日中スポーツ文化交流年公式認定事業として開催
(6) 文化振興事業
(7) 刊行物事業

一号から四〇〇号までの合本作成済み
ホームページの更新および新規内容にリニューアル
(8) 講演会等の開催
寄付行為第四條三項に基づく事業
「鳩山友愛塾」の開講にともなう後援活動
(9) その他事業
寄付行為第四條二項に基づく事業

平成十九年度監査報告
奥住 壽、田邊克育両監事の監査報告が行われ、適正であると認める旨の報告があった
両監事の報告を受け、平成十九年度の決算報告は、満場一致で承認された。
新法における方向性について
検討委員会鶴巻克雄委員長より、検討委員会第一回が開催された旨、報告があった
検討委員構成人員
鶴巻克雄常務理事を委員長に、川手正一郎常務理事、福田八州雄評議員、萩原直三評議員で構成され、事務局羽中田元美、榎麻記子の二名が加わった。
新法(公益財団法人)に

行について
「友愛」の活動の基礎として、その理念を明文化したものを作成する
資料として配布された「川手正一郎著『友愛』理解のための本」を、当財団の認める出版物とする
その他
鳩山一郎先生五〇年祭
平成二十一年三月七日が故郷鳩山一郎先生の五〇年祭にあたることから、財団法人日本友愛青年協会として五〇年祭を執り行うこととすることが認められた
以上、予定されていた議事を全て承認、可決して議事を無事終了、予定時間に閉会された。
本欄は、第七六回理事会議事録に基づき、一部割愛して掲載しております。
議事録は事務局に保管されており、閲覧可能です。

房総半島の先端に、館山水道に面して見物海岸という海水浴場にもなっている海岸があった。ここから、国民宿舎「鳩山荘」があった。いまは民間化されて、旅館として営業している。元々は鳩山家の別荘だったのを、館山市に寄贈したもので、門を入った所の林のなかに、鳩山一郎先生の銅像が建っている。友愛同志会が創立された当時、ここで友愛の講習会が行われ、私も講師の一人に依頼された。それが縁で、以来役員の一員として、今に至っている。この見物海岸の名の由来は定かではないが、対岸にあたる三浦半島が見え、東京湾に入る船の水路となっていることから、海岸にいて目の前を大小様々な船が通り、私にとっては正に「見物海岸」であった。潜水艦が浮上した状態で、艦上に船員が何人が立っただけでも、行くのを見るの、なかなか楽しかった。この海岸と対岸が見える様子が、丁度私の郷里、愛知県の海岸と似ているので色々考えた末、私も百坪ばかりの土地を買って、小屋を建てた。休みの日にはこの小屋に行き、夏休みに毎日のように泳いだ。私は海水着のまま家を出て、濡れたまま家に戻ってシャワーを浴びて着替えるというのが、いわゆる海水浴の理想だと考えていた。で、夏になると大抵は見物海岸に行ってしまう。友愛山荘も現在には「軽井沢友愛山荘」のみとなった。この軽井沢の地に建つ友愛山荘は、友愛の原点ともいえる。大いに活用したい。(小久)



Comparison table between Public Interest Corporations and General Corporations regarding tax and legal aspects.

Comparison table between Public Interest Corporations and General Corporations regarding management and supervision.

友愛時評

座談会

いま「友愛」の果たすべき役割

川手正一郎常務理事・鶴巻克雄常務理事・福田八州雄評議員・萩原直三評議員

財団法人日本友愛青年協会は、故鳩山一郎先生の提唱により、昭和十八年の設立以来今日まで、五十五年の永きにわたり活動を続けて来た。設立当初の「友愛青年同志会」の名称は、現在の「日本友愛青年協会」に変わったが「相互尊重・相互理解・相互扶助」の「友愛三原則」は、今日に至るまで連続と受け継がれている。

若者が「友愛」の理念のもと、全国各地を行脚し社会活動を実践してきたことは、戦後の混沌とした時代、時代に即応した役割を果たしたと言える。またいち早く青年の国際交流に尽力、実行したこと、東京オリンピック開催時の国際青年キャンプの実施なども、時代背景を的確に捉えた活動であった。

近年は文化振興・国際交流事業としての「友愛ドイツ歌曲コンクール」の開催、国際交流・環境保全事業としての植林活動など、確実な歩みを続け、その役割を果たしてきた。

本年十一月、新公益法人法が施行されるにあたって、今果たすべき「友愛」の役割を見つめ直す好機といえる。先に開かれた第六九回評議員会・第七六回理事会で「友愛理解のために」の発行が事業として承認されたことは、その第一歩を歩み始めたといえる。

過日「友愛」創設以来積極的な活動を続けていられる方々を始め、深く「友愛」に関わる方々にご参加いただき「いま友愛の果たすべき役割」と題して座談会を開催した。今号にてその模様をご報告したい。

座談会
いま「友愛」の果たすべき役割
参加者
常務理事 川手正一郎
常務理事 鶴巻克雄
評議員 福田八州雄
評議員 萩原直三
進行 編集部

考えています。現代は「人間」を考える時代だと思えます。ですから、原点を尊重しつつ、青年のみならず「人間」を見つめるとき、今友愛が果たすべき役割は何か、それを問いかける意味からも、この小冊子を執筆しました。

***今伝えたい想い
編集部 まず今回、友愛理解のために「友愛」を執筆された川手常務理事にお伺いします。執筆にあたり、最も伝えたい想いは何でしょうか？

川手 友愛は満五十五年を過ぎました。設立当時と現在では大きく時代背景が異なっています。しかし、「友愛」は基本理念を変えることなく活動を続けてきました。そして、設立当初の友愛の役割は果たしたと

いのですが、社会の構造、若者の考え方は変化しています。「相互尊重・相互理解・相互扶助」を具体的な行動に移せる人が減ったように思います。いつの時代にあっても、友愛社会実現のために、何でも同じことを訴え続け、友愛三原則を行動として表して欲しいと思います。そのために、今回新たに『友愛理解のために』が世に出ることは、とても有意義なことだと思います。

編集部 時代的に丁度その間で、「自身も友愛の執行部として活躍された萩原評議員、ご意見を。

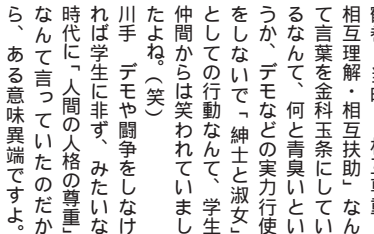
萩原 ご縁があって私が友愛に深く関わっていた頃は、正にその小冊子で勉強していました。「友愛」ということを、川手鶴巻両先輩から教えを得たといえます。私が一番驚いたというか、実践していく



上でどう消化すれば良いかと、深く考えさせられたのは「友愛」という言葉と「革命」という、まるで相反するような言葉が並んでいたことです。今回の川手常務理事の小冊子にも書かれています。テロや暴動といったことではなく、「紳士・淑女」の行う心の革命ですから、このことに向き合っただけでも、本当に勉強になりました。同時に実際の行動としては、国際交流などを、積極的にさせていたいただきました。「友愛」を考えることは、当時の私にとって良い指針であったと、今深く思います。

編集部 福田評議員は、友愛との関わりは時間的に浅いとおっしゃっています。が、実践面では、植林活動への全回参加など、積極的な活動をなさっています。今回の「友愛理解のために」

せていただいていたと言えらるでしょう。今色々な仕事をさせていたただいていると、趣意書・前文にかかれていることがとても良く解ります。友愛がもたらしていることが、改めて思っています。ですから益々「友愛」を勉強したいと思えます。その上でも、今回の「友愛理解のために」は、貴重の一冊です。新法施行を前に、友愛の役割を見つめ直す上でも、正に時宜を得た発行だと思えます。



***人と人を考える時代
編集部 『友愛理解のために』は、強い支持を得ています。が、執筆者ご本人のご感想はいかがですか？

川手 「友愛」のみならず、すべてが人と人との関係にあると思います。その人と人の関係のなかでの要となるのは「利他」(編集部註…自分以外の人間の幸福を願う)ということだと思えます。友愛の基本も正にそこにあつて、自分の欲望を律することが大切で、その指針となつてるのが「友愛」であった。その指針をもう一度おさらいをするつもりで、この小冊子を書いたのです。書いてみて改めて友愛の大切さを感じています。今正に「人と人」の時代にあつて、「友愛」が必要とされていると思つて。

編集部 創設当時は、日本のみならず世界が混沌とした。そして豊かではなかった。その時代にカレルギー伯は、今日の世界の姿が見えていた。またそのことにカレルギー伯の著書を見れば、自由と人生を

出版されたことは、非常に意義深い。と同時に、お二人の先見の明というより世界観、思想がいかに素晴らしいかを物語っている。鶴巻 私たちが学生だった頃、理想も思想も行き場を失っていた。そんな時代にあつて、「友愛」は人生の指針となつてくれたのです。カレルギー伯の著書の中に「平和とは戦争と戦争の間の期間をいう」と書かれていて、これには眼を開かされました。そうか、次の戦争までの間を長くすれば良いのだ。それなら自分で何か出来るかも知れない。では何をすべきかと問題点が明らかになつた。そこに「友愛」の思想が指針となつた訳です。



萩原 私の時代はいわゆる「七〇年全共闘」の時代でしたが、そんな時代に「国家のために人間があるのではなく、人間のために国家がある」という、これまた「友愛革命」と同様に、理解し合得するのにも考えなくはない言葉にぶつかつた。また、自己の尊厳に目覚めよ、と聞いたこともない言葉に触れて、解らないなりに奮い立つ訳です。私にとって「友愛」は、全く学生時代と重なつていて、生きることそのものでした。

編集部 当時、「相互尊重・相互理解・相互扶助」なんて言葉は金科玉条にしているなんて、何と青臭いというか、デモなどの実行行為をしないで、「紳士と淑女」としての行動なんて、学生仲間からは笑われていましたよね。(笑)

川手 デモや闘争をしなれば学生に非ず、みたいな時代に「人間の人格の尊重」なんて言っていたのだから、ある意味異端ですよ。

友愛婦人会だより

平成20年度総会 開催

桜のもと目白椿山荘にて

平成(〇)年四月三日(木)目白椿山荘において「友愛婦人会平成二〇年度総会」が開催された。出席者は一〇二名におよび、賑やかな華やかな総会となった。

当日は、晴天に恵まれ、折しも椿山荘の桜も満開、咲き乱れる桜という「オマケ」もあり、出席者は思いがけない花見となった。

先頃創立五〇周年の記念会を終えた「友愛婦人会」は、着実に活動の歴史を刻んでいる。

冒頭、鳩山安子会長が挨拶に立ち「皆様から熱烈に協力をいただき今日まで続けていくことができ、世相は必ずしも心配事がない状況ではありませんが、こんな時だからこそ友愛婦人会の歴史を振り返り、

愛精神をもって行動したいと思えます」と述べた。

司会進行は水口委員が務め、倉林副会長が開会の辞を述べた。柿沼副会長が議長に選出され、議事を進行し、十九年度事業報告並びに二十年度事業計画を渡辺書記が報告。小峰会計委員より十九年度会計報告が行われ、諏訪、秋田両会計監査の監査報告が行われた。監査報告を受け、十九年度会計報告は満場一致で承認された。

続いて、任期満了による役員改正が行われ、新役員が紹介された。新役員二十七名は、満場一致で承認され、新体制が整った。

議事終了後、懇親会となり、鳩山邦夫事務所の田中

昭彦秘書が乾杯の音頭をとり、賑やかに宴が始まった。大川幹事長によるピアノ伴奏で、全員で叙情歌を合唱。また庭に出て桜のもと各支部(こ)に記念撮影をするなど、和やかなひとときを過ごした。

柿沼副会長による手締めで、懇親会を終了した。

友愛婦人会総会を終えて、

新年会に引き続き総会にも、鳩山安子会長にお越しいただき、出席者全員感激いたしました。会長のお言葉通り、私たちも友愛精神を忘れず、歴史ある婦人会のため、会長と共に婦人会の運営を進めていきたいと存じます。見事な桜が彩りを添えた総会でした。

(1) 第一号 (90頁) 友愛青年同志会機関紙 昭和39年2月25日発行



語る 鳩山一郎氏

友愛革命と民主政治

友愛革命とは、民主政治の発展を促すための活動である。友愛婦人会は、この精神を継承し、社会の発展に貢献している。

発行の言葉

「友愛」の発行は、昭和28年2月25日発行の第一号から始まり、今に至るまで継続して発行されている。この間、多くの読者から愛読をいただき、感謝している。

世界青年の動向

世界の若者たちは、平和と発展を求め、国際交流を積極的に行っている。友愛婦人会も、この流れに賛同し、国際交流を推進している。

7月号のひとこまは、「友愛」第一号です。昭和28年2月25日発行、鳩山一郎先生の穏やかな笑顔の写真とともに、「発行の言葉」が掲載されています。見出しには「友愛革命」の文字が、2面・3面の座談会記事と併せてご覧いただくとさらに興味深いと思います。「友愛」バックナンバーはデータ化され、494号まで事務所に備え付けてあり、何時でもご覧いただけます。是非一度事務所にお越しください。

友愛アルバム

紅葉の季節、山荘の廻りを囲む木々も色づき、見事な錦を織りなしています。

その他、横川へ抜ける確氷峠は、色づいた木々のトンネルが出来ており、思わず歓声を上げる美しさです。あるいは松井田インタルから旧道を通って軽井沢へ抜ける道は、妙義山の切り立った岩盤に、赤、黄の木々が映え、飽きることのない眺めです。

自転車・テニスコート完備

軽井沢友愛山荘には、自転車のご用意もありますので、自転車で乗っての紅葉狩りがいかがでしょうか。

また秋はスポーツの季節。軽井沢友愛山荘は、テニスコートも完備しております。本格的なテニスを楽しまたい方は勿論、ちょっと気軽にテニスを楽しまれ

る方のために、ラケットも備えておりますので、お気軽にご利用ください。

芸術の秋を軽井沢で！

ピアノも完備しています。秋と言えば芸術の秋。美しく色づいた木々は絶好の被写体であり、画題となるでしょう。そして軽井沢友愛山荘にはピアノのご用意もあります。勿論常に調律をして、何時でもご利用いただけるよう準備万端です。小さな音楽会、歌唱会など、計画されてはいかがでしょうか。

軽井沢で勉強会・研修会

秋はまた勉強の季節。軽井沢友愛山荘には会議室もあり、研修会、勉強会にご利用いただけます。研修会・勉強会には団体利用の割引料金(下記料金表参照)が適用されますので、気軽にご利用いただけます。

是非ご利用ください。

研修用設備も完備

軽井沢友愛山荘の会議室には、会議用テーブル、椅子、ホワイトボードは勿論、プロジェクター、プリンター、コピーのご用意もあります。ご利用ご希望の方は、お申し込み時に事務局にその旨お伝えください。

軽井沢友愛山荘は、どんなでもご利用いただけます。軽井沢友愛山荘の情報「友愛」ホームページに

*** 軽井沢友愛山荘料金表(税別) ***

個人利用料金	団体利用料金		
	5~9名	10~15名	16名以上
一般	10,000	8,000	7,000
会員紹介	9,000	7,000	6,000
賛助会員	7,000	6,000	5,500
学生	7,000	6,000	5,500



梅雨寒から一転、真夏の日差しとなり熱中症が心配されるようになった。最近の気候は変化が激しく、予報も占いの様に映る。世の中は気温一度で一喜一憂の人もあり、四季はハッキリしている方が何かと日本のCO2や温暖化の懸念も具体的にならなければ人間にはピンと来ない。このまま進めば、全ては後の祭り。人間は賢いと勝手に思いこんでいるだけ。本当は動物とあまり変わらないと時々思う。

夏のな？と確かめたくなるような近頃の天候です。東京は未だ梅雨明け宣言もなく、雨の日続き...と思えば、いきなり三十度を超える日もあり、これも温暖化が原因なのでしょう。何かしなくては、ゴミの分別、エコバッグの使用、リサイクルと頑張っています。でも、どこか許さない。小さなイライラが募ります。千里の道も一歩の心境で続けなくては。(七)

鳩山友愛塾のお手伝いで、鳩山会館に行く機会が多くなりました。先日は、蚊取り線香が焚かれていて、懐かしい香りが館内に漂っていました。夏の訪れを感じると共に、昭和の時代の幼い頃を思い出して、心が和みました。鳩山会館は、都会にあっても、それを忘れてしまっただけで、緑豊かな空間です。歴史的な建物の見所も沢山あります。一日のんびりと過ごされては如何ですか。(エム)

友愛活動の原点 大いに活用を!

軽井沢の秋を友愛山荘で!

軽井沢友愛山荘 好評稼働中

梅雨寒から一転、真夏の日差しとなり熱中症が心配されるようになった。最近の気候は変化が激しく、予報も占いの様に映る。世の中は気温一度で一喜一憂の人もあり、四季はハッキリしている方が何かと日本のCO2や温暖化の懸念も具体的にならなければ人間にはピンと来ない。このまま進めば、全ては後の祭り。人間は賢いと勝手に思いこんでいるだけ。本当は動物とあまり変わらないと時々思う。

夏のな？と確かめたくなるような近頃の天候です。東京は未だ梅雨明け宣言もなく、雨の日続き...と思えば、いきなり三十度を超える日もあり、これも温暖化が原因なのでしょう。何かしなくては、ゴミの分別、エコバッグの使用、リサイクルと頑張っています。でも、どこか許さない。小さなイライラが募ります。千里の道も一歩の心境で続けなくては。(七)

鳩山友愛塾のお手伝いで、鳩山会館に行く機会が多くなりました。先日は、蚊取り線香が焚かれていて、懐かしい香りが館内に漂っていました。夏の訪れを感じると共に、昭和の時代の幼い頃を思い出して、心が和みました。鳩山会館は、都会にあっても、それを忘れてしまっただけで、緑豊かな空間です。歴史的な建物の見所も沢山あります。一日のんびりと過ごされては如何ですか。(エム)